

準備する	2
機器を接続する	2
つないだアンプの種類を設定する	3
ベースをチューニングする (チューナー)	3
演奏する	4
パッチを選ぶ	4
パッチ・ナンバーで選ぶ	4
カテゴリからパッチを選ぶ (EASY SELECT)	4
プレイ画面について	4
エディット編：エフェクト	5
エフェクト・エディットの基本操作	5
エフェクトの接続順を変更する	5
プレイ画面からエディット	5
EASY EDIT	6
パッチの保存	6
エディット編：MENU	7
MENUの基本操作	7
[1] ~ [3] つまみに好みのパラメーターを割り当てる	7
ディスプレイのコントラスト (明るさ) を調節する	7
工場出荷時の設定にもどす (ファクトリー・リセット)	7
パソコンを接続する	8
USBドライバーのインストール	8
パソコンを接続する	8
オーディオ・インターフェースとして使う	8

CTL1、EXP1、外部ペダルの設定	9
機能を設定する	9
エクスプレッション・ペダルを調節する (ペダル・キャリブレーション)	9
外部ペダルの接続について	10
ルーパー	11
ループ再生レベルの設定	11
[CTL1] スイッチの色	11
エラー・メッセージ一覧	11
主な仕様	12
安全上のご注意／使用上のご注意	12

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」(「安全上のご注意」チラシと取扱説明書 (P.12)) をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

© 2017 ローランド株式会社

取扱説明書 (本書)

最初に読んでください。使いかたの基本操作を説明しています。

PDF マニュアル (Web からダウンロード)

- **パラメーター・ガイド**
本機のすべてのパラメーターについて解説しています。
- **サウンド・リスト**
本機に収録されている音色のリストです。

PDF マニュアルの入手方法

1. パソコンなどで下記の URL を入力します。
<http://jp.boss.info/manuals/>
- ▼
2. 製品名「GT-1B」を選んでください。

準備する

機器を接続する

1 接続する機器の音量を絞る

2 OUTPUT 端子に機器を接続する

3 ベースを接続する

4 アンプの電源をオンにする

PHONES 端子
ヘッドホンをつなぎます。

OUTPUT 端子
ベース・アンプやミキサーなどにつなぎます。モノで使用するときには L/MONO 端子のみをご使用ください。

USB COMPUTER 端子
USB ケーブルでパソコンにつないで、GT-1B とパソコンとの間でオーディオを送信/受信します (P.8)。

INPUT 端子
ベースをつなぎます。INPUT 端子は、電源スイッチも兼ねています。接続プラグを INPUT 端子に差し込むと電源がオンになり、抜くとオフになります。

AUX IN 端子
オーディオ・プレーヤーをステレオ・ミニ・プラグでつなぎます。
OUTPUT 端子、PHONES 端子から出力される音量はオーディオ・プレーヤーの音量調節で調節してください。

DC IN 端子
AC アダプター (BOSS PSA-100: 別売) をつなぎます。
AC アダプターは、必ず指定のもの (PSA-100) を、AC100V の電源で使用してください。

CTL2, 3/EXP2 端子 (外部ペダルを接続する)
エクスプレッション・ペダル (別売: EV-30、Roland EV-5 など) やフットスイッチ (別売: FS-5U、FS-6、FS-7) をつなぐと、さまざまなパラメーターをコントロールすることができます。
→ 設定方法は、「CTL1、EXP1、外部ペダルの設定」(P.9) をご覧ください。

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

※ 電源を入れる/切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる/切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

電池を入れる

本体裏面にある電池ケースにアルカリ電池 (単 3 形) 4 本を入れてください。

※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。『安全上のご注意』『使用上のご注意』(『安全上のご注意』チラシと取扱説明書 (P.12)) に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。

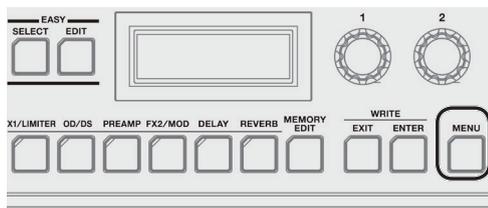
※ AC アダプターを使用する場合でも、電池を入れておけば、万一本機から AC アダプターのコードが抜けても演奏が続けられます。

※ 電池のセットや交換は、誤動作や故障を防ぐため、他の機器と接続する前に行ってください。

※ 電池駆動のときは、電池が消耗してくると画面に「BATTERY LOW!」と表示されます。新しい電池と交換してください。

つないだアンプの種類を設定する

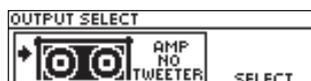
1. [MENU] ボタンを押します。



2. [1] つまみで「OUTPUT」を選び、[ENTER] ボタンを押します。



3. [3] つまみで、アンプの種類を選びます。



設定値	説明
LINE/PHONES	ヘッドホンを使う場合や、GT-1B をモニター・スピーカー、ミキサー、デジタル・レコーダーなどに接続する場合の設定です。
AMP NO TWEETER	ツイーターの付いていないベース・アンプに接続する場合の設定です。高域が補正されます。
AMP WITH TWEETER	ツイーター付きのベース・アンプに接続する場合の設定です。

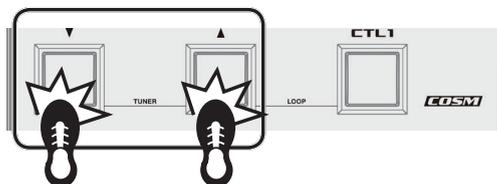
4. [EXIT] ボタンを数回押して、プレイ画面 (P.4) に戻ります。

メモ

プレイ画面 (P.4) で [3] つまみを回すと GT-1B 全体の出力レベルを調節することができます。

ベースをチューニングする (チューナー)

1. [▲]、[▼] スイッチを同時に押します。

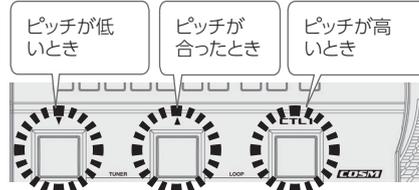


2. 弦を開放で弾き、画面中央のインジケーターだけが点灯するようにチューニングします。



メモ

[▲]、[▼]、[CTL1] スイッチを見ながらチューニングすることもできます。



3. チューニングを終了するときには、再度、[▲]、[▼] スイッチを同時に押します。

基準ピッチの設定

チューナー画面で [1] つまみを回すと、チューナーの基準ピッチを変更することができます。

PITCH
435 ~ 445 Hz (初期値: 440 Hz)

出力の設定

チューナー画面で [3] つまみを回すと、チューナー使用時の出力の設定を変更することができます。

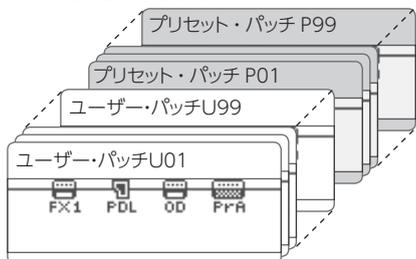
OUTPUT	説明
MUTE	チューニング中に音を出力しません。
BYPASS	チューニング中に GT-1B に入力されたベースの音をそのまま出力します。すべてのエフェクトがオフの状態です。
THRU	現在のエフェクト音のままチューニングできます。

演奏する

準備ができれば、さっそく GT-1B を使って演奏してみましょう。

パッチを選ぶ

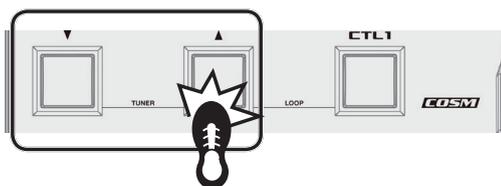
GT-1B にはたくさんのエフェクトが入っています。これらのエフェクトの組み合わせと設定をひとまとめにしたものを「パッチ」と呼びます。



GT-1B は上書き保存できるユーザー・パッチ (U01 ~) を 99 種類、上書き保存できないプリセット・パッチ (P01 ~) を 99 種類記憶しています。

パッチ・ナンバーで選ぶ

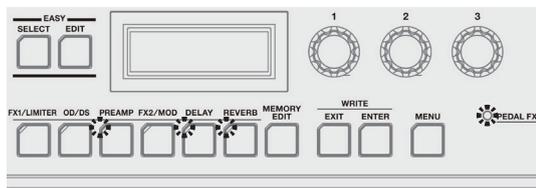
1. [▲]、[▼] スイッチを押して、パッチを切り替えます。



[1] つまみを回しても、パッチを連続で切り替えることができます。



パッチを選ぶと、パッチ内でオンになっているエフェクトのボタンや PEDAL FX のインジケータが点灯します。



メモ

プレイ画面 (P.4) 以外では、パッチを切り替えることができません。[EXIT] ボタンを押してプレイ画面に戻ってからパッチを切り替えてください。

カテゴリーからパッチを選ぶ (EASY SELECT)

1. プレイ画面が表示されている状態で、[EASY SELECT] ボタンを押します。



EASY SELECT 画面が表示されます。



2. [1] つまみを回して検索方法 (SORT TYPE) を選びます。



設定値	説明
GENRE	パッチのカテゴリーで検索します。
DRIVE	歪みのタイプで検索します。
EFFECT	エフェクトのタイプで検索します。

3. [2] つまみで、カテゴリー、または歪みのタイプを選びます。



または



4. [3] つまみで画面のリストからパッチを選びます。



パッチ・ナンバーの表示

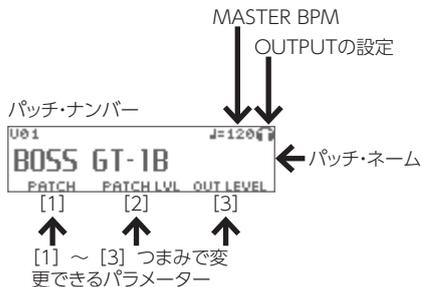
ディスプレイには、現在選ばれているパッチ・ナンバーとパッチ名が表示されます。



プレイ画面について

電源投入後に表示される画面を「プレイ画面」といいます。

ディスプレイのアイコン



アイコン	説明
J=120	MASTER BPM を表示します。
🔊	OUTPUT が LINE/PHONES 以外るときに表示されます。
🎧	OUTPUT が LINE/PHONES のときに表示されます。

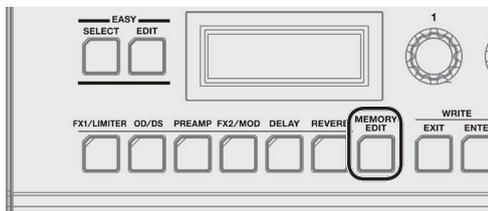
※ MASTER BPM について、詳しくは『パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。

エディット編:エフェクト

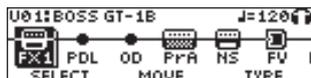
エフェクト・エディットの基本操作

エフェクトの配列を示す画面（エフェクト・チェーン画面）から、エディットしたいエフェクトを選んでエディットすることができます。パネル上のボタンにないエフェクトやコントローラーなどの設定をエディットすることもできます。

1. [MEMORY EDIT] ボタンを押します。

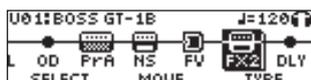


エフェクト・チェーン画面が表示されます。



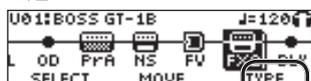
※ 各エフェクトのボタンでエフェクトのオン/オフを切り替えることができます。オンになっているエフェクトはアイコンで表示されます。オフになっているエフェクトは「●」で表示されます。

2. [1] つまみで、エディットするエフェクトを選びます。

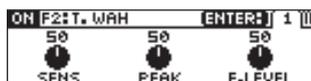


メモ

FX 1、FX 2 など、エフェクトのタイプが選べるエフェクトを選んだときは [3] つまみでエフェクトのタイプを選びます。

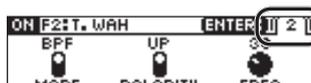


3. [ENTER] ボタンを押して、エディット画面に入ります。



4. [1] ~ [3] つまみで、画面上に表示されている各パラメーターの値を設定します。

タブが表示されている画面では、[ENTER] ボタンで、エディット画面のページを切り替えます。



5. [EXIT] ボタンを数回押して、プレイ画面に戻ります。

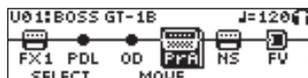
エフェクトの接続順を変更する

エフェクト・チェーンの中からエフェクトを選んで移動することができます。

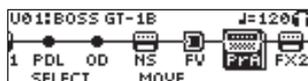
1. [MEMORY EDIT] ボタンを押します。

エフェクト・チェーン画面が表示されます。

2. [1] つまみで、移動したいエフェクトを選びます。



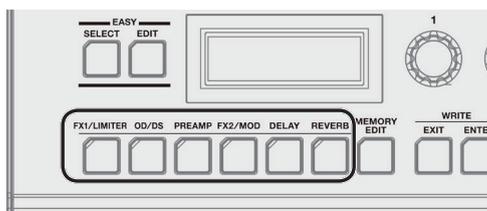
3. [2] つまみで、選んだエフェクトを移動させます。



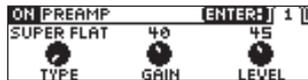
プレイ画面からエディット

プレイ画面 (P.4) からでもエディットできます。

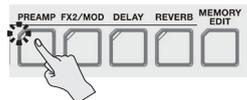
1. エディットしたいエフェクトのボタンを長押しします。



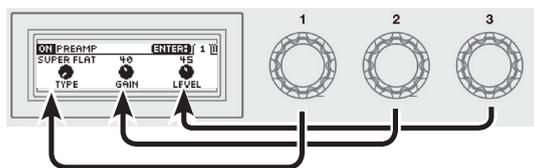
エディット画面が表示されます。



※ エフェクトのボタンを押すと、エフェクトのオン/オフを切り替えることができます。エフェクトがオンのときはボタンが点灯します。



2. [1] ~ [3] つまみで、画面上に表示されている各パラメーターの値を設定します。



[ENTER] ボタンで、エディット画面のページを切り替えます。



3. [EXIT] ボタンを押して、プレイ画面に戻ります。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

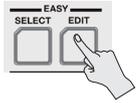
Português

Nederlands

EASY EDIT

EASY EDIT を使って、現在鳴らしている音の歪みのタイプ (TONE) を変えたり、音に揺らぎを与えるエフェクト (VIBES) の設定を変えたり付加したり、残響 (ECHO) を変えたりすることが簡単にできます。

1. プレイ画面が表示されている状態で [EASY EDIT] ボタンを押します。



EASY EDIT 画面が表示されます。



2. [1] ~ [3] つまみで [TONE]、[VIBES]、[ECHO] をそれぞれ好みの音に設定します。

EASY EDIT 画面が表示されている状態で [ENTER] ボタンを押すと、さらに以下の詳細設定ができます。

パッチの保存

作ったパッチを保存したい場合は、以下の手順でユーザー・パッチに保存してください。パッチを保存しないと、電源を切ったり、パッチを切り替えたりしたときにエディットした内容が失われます。

1. [EXIT] ボタンと [ENTER] ボタンを同時に押します。
WRITE UTILITY 画面が表示されます。
2. [1] つまみで [WRITE] (PATCH WRITE) を選び、[ENTER] ボタンを押します。
3. [1] つまみで、保存先 (U01 ~ U99) を選びます。
4. [ENTER] ボタンを押します。

ここで、名前を変更することができます。

操作子	動作
[1]つまみ	文字の変更
[2]つまみ	カーソルの移動
[3]つまみ	文字種選択

5. [ENTER] ボタンを押します。
ここで、パッチのカテゴリーを設定することができます。
[1] つまみと [3] つまみでカテゴリーを選びます。
6. もう一度、[ENTER] ボタンを押します。
保存が完了すると、プレイ画面に戻ります。

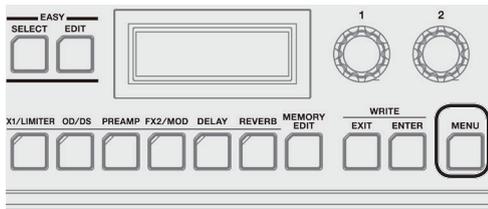
エディット編：MENU

MENU の基本操作

GT-1B 全体で共通の設定（システム・パラメーター）をします。出力や、USB の各種設定、[1] ～ [3] つまみの機能の割り当てなどを設定します。

各パラメーターについて、詳しくは『GT-1B パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。

1. [MENU] ボタンを押します。

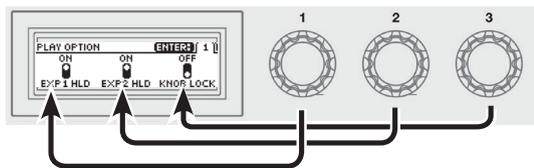


2. [1] つまみで、エディットしたい項目を選びます。

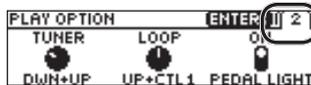


3. [ENTER] ボタンを押します。

4. [1] ～ [3] つまみで、画面上に表示されている各パラメーターの値を設定します。



[ENTER] ボタンでエディット画面のページを切り替えます。



5. [EXIT] ボタンを押してプレイ画面に戻ります。

本書では、操作の手順を以下のように表記します。

<例>

[MENU] ボタンを押します。

[1] つまみを回して「USB」を選び [ENTER] ボタンを押します。



[MENU] → 「USB」を選びます。

[1] ～ [3] つまみに好みのパラメーターを割り当てる

プレイ画面が表示されているときに、[1] ～ [3] つまみで操作するパラメーターを割り当てます。

1. [MENU] → 「KNOB」を選びます。



2. [1] ～ [3] つまみで、各つまみに割り当てるパラメーターを設定します。



3. [EXIT] ボタンを数回押して、プレイ画面に戻ります。

ディスプレイのコントラスト（明るさ）を調節する

ディスプレイの明るさを調節することができます。

1. [MENU] → 「DISPLAY」を選びます。

2. [1] つまみで、コントラストを調節します。

工場出荷時の設定にもどす（ファクトリー・リセット）

GT-1B の設定を工場出荷時の設定に戻すことを「ファクトリー・リセット」といいます。

すべての設定を工場出荷時の設定に戻すことができますが、工場出荷時の設定に戻したい項目を指定することもできます。

※「ファクトリー・リセット」を実行すると、お客様が設定した設定は失われます。必要なデータは専用ソフトウェアでパソコンなどに保存してください。

1. [MENU] → 「F. RESET」(FACTORY RESET) を選びます。

2. [1]、[3] つまみで、ファクトリー・リセットの範囲を指定します。

つまみ	パラメーター	設定値	説明
[1]	FROM TO	SYSTEM	システム・パラメーターの設定内容
[3]		U01 ～ U99	パッチ・ナンバー U01 ～ U99 の設定内容

3. [ENTER] ボタンを押します。

ファクトリー・リセットをやめるときは、「CANCEL」が選ばれている状態で、[ENTER] ボタンを押します。

4. ファクトリー・リセットを実行するときは、[1] つまみで「EXECUTE」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

ファクトリー・リセットが終了すると、プレイ画面に戻ります。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

パソコンを接続する

GT-1B を USB 経由でパソコンと接続すると、以下のことができます。

- パソコンとの間でデジタル・オーディオ信号を送受信
- 専用ソフトウェアを使って、パソコン上でパッチの編集や管理、『GT-1B パラメーター・ガイド』(PDF) の表示
- 専用 Web サイト BOSS TONE CENTRAL (<http://bosstonecentral.com/>) からパッチをダウンロード

USB ドライバーのインストール

パソコンに接続するには、USB ドライバーをインストールする必要があります。

USB ドライバーは、ボスのホームページからダウンロードしてください。

USB 接続をする前に、専用ドライバーのインストールをしてください。詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をお読みください。

→ <https://www.boss.info/jp/support/>

ドライバーは、ご使用の環境によってインストールするプログラムや手順が異なりますので、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をよく読んでうえでお使いください。

GT-1B 専用ソフトウェアを使う

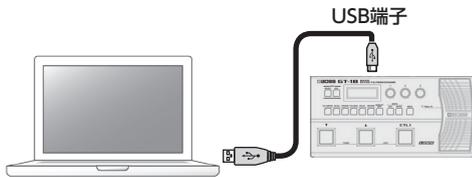
専用ソフトウェアは、BOSS TONE CENTRAL (<http://bosstonecentral.com/>) よりダウンロードすることができます。使いかたの詳細については、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をご覧ください。

専用ソフトウェアでは以下のことができます。

- ダウンロード・サイト、BOSS TONE CENTRAL から、パッチを簡単に本体にダウンロードできます。
- パッチの設定を編集できます。
- パッチにパッチ名をつけることができます。
- パッチの順番を並べ替えたり、入れ替えたりすることができます。
- パッチと本体の設定をバックアップしたり、バックアップした設定に戻したりすることができます。
- 『GT-1B パラメーター・ガイド』(PDF) を表示することができます。

パソコンを接続する

1. 市販の USB2.0 ケーブルを使って、パソコンの USB 端子と GT-1B の USB 端子を接続します。



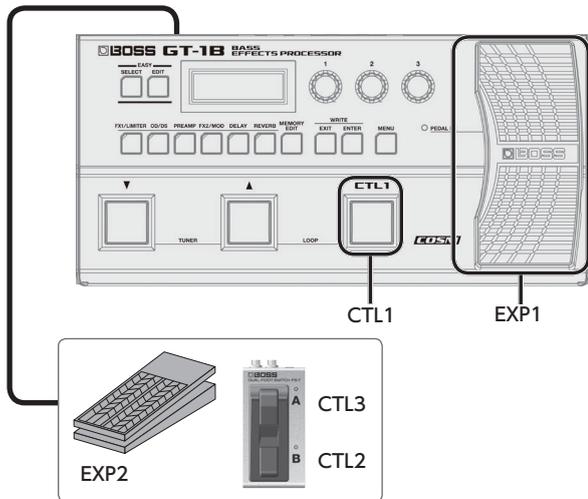
オーディオ・インターフェースとして使う

GT-1B の音をパソコンに録音したり、パソコンの音を GT-1B の OUTPUT 端子から出力したりすることができます。

- ※ USB 接続時のオーディオ信号の流れと設定方法について、詳しくは『GT-1B パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。
- ※ 各ソフトウェアの入力元の切り替えかたは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

CTL1、EXP1、外部ペダルの設定

トップパネルの [CTL1] スイッチや、エクスプレッション・ペダル (EXP1)、リア・パネルの CTL2, 3/EXP2 端子に接続するエクスプレッション・ペダルやフットスイッチにはさまざまな機能を割り当てることができます。

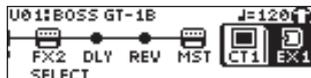


機能を設定する

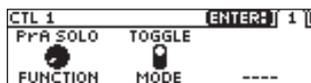
1. [MEMORY EDIT] ボタンを押します。
2. [1] つまみで、設定したい操作子を選びます。

名称	アイコン	説明
CTL1		トップ・パネルの [CTL1] スイッチ
EXP1		トップ・パネルのエクスプレッション・ペダル
CTL2		CTL2, 3/EXP2 端子に接続したフットスイッチ
CTL3		CTL2, 3/EXP2 端子に接続したフットスイッチ
EXP2		CTL2, 3/EXP2 端子に接続したエクスプレッション・ペダル

[CT1] ~ [EX2] はエフェクト・チェーンのさらに右側にあります。



3. [ENTER] ボタンを押して、エディット画面に入ります。



4. [1] ~ [3] つまみで、画面上に表示されている各パラメーターの値を設定します。

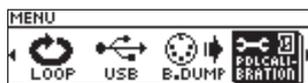
[ENTER] ボタンで、エディット画面のページを切り替えます。

各パラメーターについて、詳しくは『GT-1B パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。

エクスプレッション・ペダルを調節する (ペダル・キャリブレーション)

本機のエクスプレッション・ペダルは、最適な動作をするように工場出荷時に調整してありますが、経年変化や使用環境によって、この調整がズレる場合があります。「ボリューム・ペダルで音が完全に消えない」「EXP PEDAL SW が効かない」などの症状が現れたときは、以下の手順で再調整することができます。

1. [MENU] → [PDL CALIBRATION] を選びます。



PEDAL CALIBRATION 画面が表示されます。



2. ペダルのかかと部分を踏んで [ENTER] ボタンを押します。

[OK] と表示され、その後、次のような画面が表示されます。



3. ペダルのつま先部分を踏んで [ENTER] ボタンを押します。

[OK] と表示され、その後、次のような画面が表示されます。



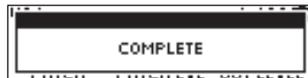
4. ペダルのつま先部分を強く踏み込みます。

踏んだときに PEDAL FX インジケーターが点灯することを確認します。

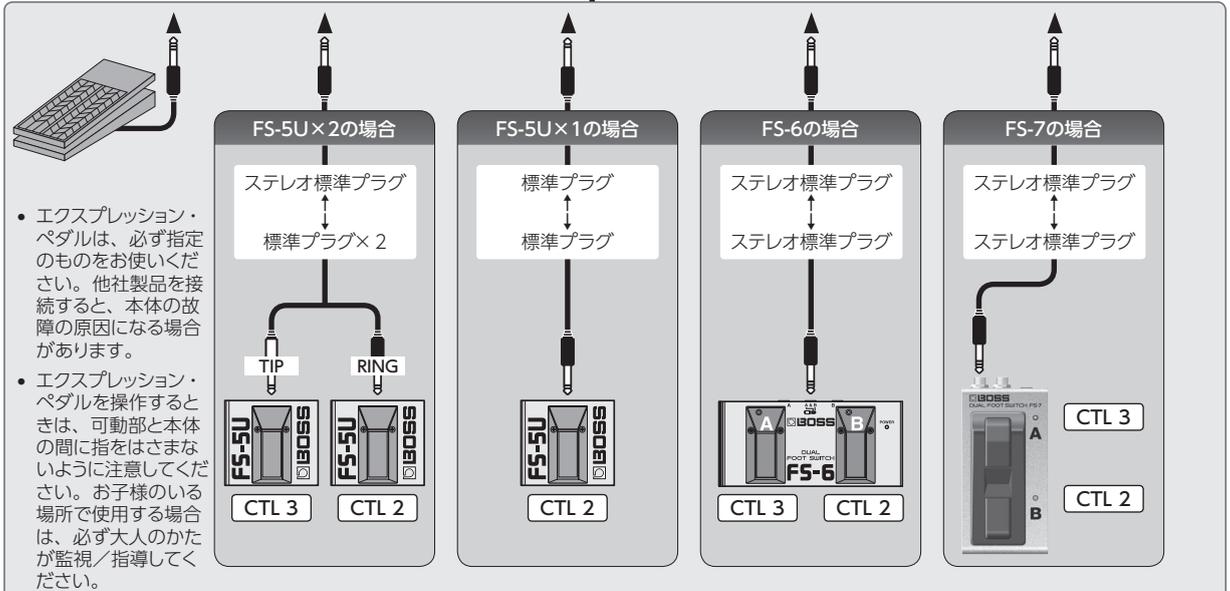
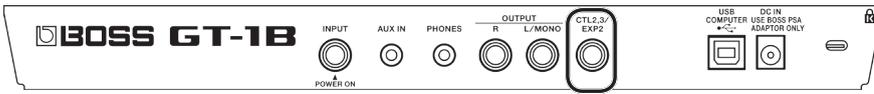
※ PEDAL FX インジケーターの点灯感度を変更したいときは、[3] つまみで THRESHOLD の値を調整しながら、手順 4 を繰り返して確認します。

5. [ENTER] ボタンを押します。

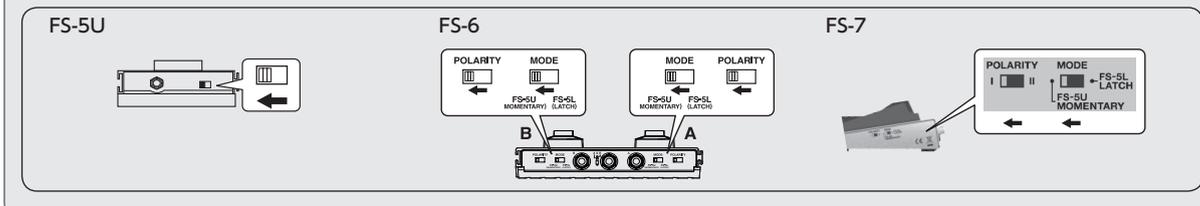
[COMPLETE!] と表示されます。



外部ペダルの接続について



モード/ポラリティー・スイッチ

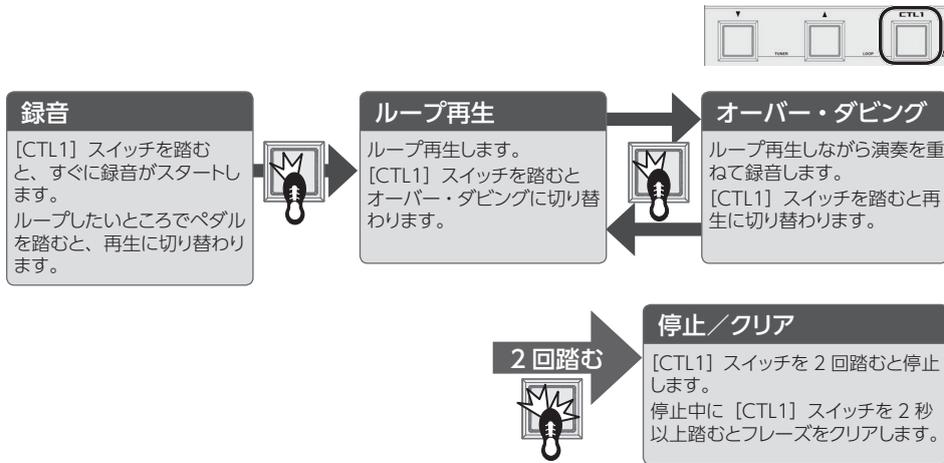


ルーパー

最大 32 秒まで（モノ）の演奏内容を録音し、その内容を繰り返し再生させることができます。繰り返し再生に合わせて、別の演奏を重ねて録音（オーバーダビング）することもできます。

録音した内容をバックに演奏することができます。

【▲】スイッチと【CTL1】スイッチを同時に押すと、ルーパーがオンになります。



※ ルーパーがオンのときは、パッチに記憶された CTL1 の設定は無視されます。

ループ再生レベルの設定

再生レベルを 100（初期値）に設定すると、演奏している音量とループ再生の音量が同じになります。

再生レベルを 100 よりも小さい値に設定すると、演奏している音量よりも小さな音量で再生されます。これにより、録音を重ねていったときに、ループ再生音によって演奏している音が埋もれるのを防ぐことができます。

1. 【MENU】 → 【LOOP】 を選びます。
2. 【1】 つまみで 【LEVEL】 の値を設定します。

【CTL1】スイッチの色

色	状態
赤	録音 / オーバー・ダビング
青	再生
青 (点滅)	停止 (フレーズあり)
消灯	停止 (フレーズなし)

メモ

※ 録音時間は 32 秒（モノ）です。

※ 録音した内容は、ルーパーを抜いたり、電源を切ったりすると失われます。

エラー・メッセージ一覧

メッセージ	原因	対処
USB OFFLINE!	接続している機器からの通信が途切れました。接続している機器の電源を切った場合にも表示されません。故障ではありません。	接続ケーブルの抜けや断線がないことを確認してください。
DATA WRITE ERROR!	ユーザー・データ保持用メモリーへの書き込みに失敗しました。	故障の可能性があります。ローランドお客様相談センターにご相談ください。
OUT OF RANGE! SET AGAIN	ペダル・キャリブレーションが正しく処理できませんでした。	もう一度ペダル・キャリブレーションの手順を確認してください (P.9)。正しい手順でペダル・キャリブレーションをしても表示される場合は故障の可能性があります。お買い上げの販売店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。
KNOB IS LOCKED!	つまみがロックされています。	【KNOB LOCK】をオフにしてください。詳しくは『GT-1B パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。
BATTERY LOW!	電池が消耗しています。	新しい電池と交換してください。

主な仕様

BOSS GT-1B : ベース・エフェクト・プロセッサー

サンプリング周波数	44.1kHz
AD変換	24ビット+ AF方式 AF方式 (Adaptive Focus method) はADコンバーターのSN比を飛躍的に向上させるローランド/ボス独自の方式です。
DA変換	24ビット
メモリー	99 (ユーザー) +99 (プリセット)
フレーズ・ループ	32秒
規定入力レベル	INPUT: -10dBu AUX IN: -20dBu
最大入力レベル	INPUT: +7dBu AUX IN: 0dBu
入力インピーダンス	INPUT: 1MΩ AUX IN: 27kΩ
規定出力レベル	OUTPUT L/MONO, R: -10dBu PHONES: -10dBu
出力インピーダンス	OUTPUT L/MONO, R: 1kΩ PHONES: 44Ω
推奨負荷インピーダンス	OUTPUT L/MONO, R: 10kΩ以上 PHONES: 44kΩ以上
ディスプレイ	グラフィックLCD (132×32ドット、バックライト付き)

接続端子	INPUT 端子: 標準タイプ
	OUTPUT (L/MONO, R) 端子: 標準タイプ
	CTL2, 3/EXP2 端子: TRS 標準タイプ
	AUX IN 端子: ステレオ・ミニ・タイプ
	PHONES 端子: ステレオ・ミニ・タイプ
電源	USB+端子: USBタイプB
	DC IN 端子
電源	アルカリ電池 (単3形) × 4、ACアダプター (別売)
消費電流	200mA
連続使用時の電池の寿命	アルカリ電池: 約7時間 (使用状態によって異なります)
外形寸法	305 (幅) × 152 (奥行) × 56 (高さ) mm ペダル傾き最大時: 305 (幅) × 152 (奥行) × 74 (高さ) mm
質量	1.3kg
付属品	取扱説明書、[安全上のご注意] チラシ、アルカリ電池 (単3形) × 4、保証書、ローランドユーザー登録カード
別売品	ACアダプター (PSA-100)、フットスイッチ: FS-5U、FS-5L、FS-6、FS-7、エクスプレッション・ペダル: FV-500L / 500H、EV-30、Roland EV-5

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

安全上のご注意 / 使用上のご注意

⚠ 注意

指などははさまないように注意する

下記の可動部を操作するときは、指などははさまないように注意してください。お子様を使用されるときは、大人のかたが監視/指導してください。

- ・ エクスプレッション・ペダル (P.9)



電池について

- ・ 電池のセットや交換は、誤動作や故障を防ぐため、他の機器と接続する前に行ってください。
- ・ 付属の電池は動作確認のため、寿命が短い場合があります。

・ 電池の消耗が著しいと音が歪むことがあります。このようなときは電池を交換するか、ACアダプター (BOSS PSA シリーズ) を使用してください。

- ・ 電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。

設置について

- ・ 設置条件 (設置面の材質、温度など) によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

修理について

・ 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合があります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。

・ 当社では、本機の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- ・ 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。

- ・ 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。

- ・ ディスプレイを強く押ししたり、叩いたりしないでください。

- ・ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

- ・ 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

・ 第三者の著作物 (音楽作品、映像作品、放送、実演、その他) の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。

・ 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。

・ Roland、BOSS、COSM、BOSS TONE CENTRAL は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。

・ ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。

・ 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム [eParts™] が搭載されています。

・ 文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

・ 文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。本書ではCOSMによってシミュレートされたサウンドを適切に表現するために、これらの名称を使用しています。